

ほゆう

会報 146号

平成 18 年(2006) 8 月例会時発行
〒277-0841

柏市あけぼの 2-9-20 B902

北総歩っ会事務局

TEL・FAX 04-7145-1620



例会の案内板

☆ 9月例会 古利根と谷津田 14km (例会リーダー 市川 操)

日 時/9月9日(土) 9:00 団体歩行

集 合/JR 常磐線天王台駅北口4分 柴崎台中央公園(案内あり)

参加費/県内歩会々員無料・他県協会々員300円・一般参加500円

解 散/天王台西口公園 14:30頃

コース/柴崎台中央公園(WC)～ふれあい工房(WC)～古利根沼～中峠亀田谷公園(WC)
～湖北台中央公園(WC・昼食)～都部・岡発戸の谷津田～天王台西口公園

○ みどころ/古利根沼には未開発の自然が残り、都部・岡発戸の谷津田には秘境を思わせる雰囲気が漂い、手賀沼の人工的自然とは異なる趣があります。我孫子のネイチャーウォーク、タイムスリップして自然と対話してみても如何ですか？

☆ 平日ウォーク 江戸七富士巡り 14km (担当リーダー 石原 洋二)

今年度の事業計画に無かった平日ウォークを9月と11月に試行致したく、会員皆様のご了解をお願い申し上げます。なお、北総歩会の特別行事なので年間完歩対象外となります。

日 時/9月20日(水) 9:00 団体歩行

集 合/JR 日暮里駅北口下車谷中霊園内・天王寺公園 距離及びIVVは認定します

参加費/会員100円・県内歩会々員200円・他県協会々員300円・一般参加500円

解 散/花園神社15時頃(最寄り駅はJR新宿駅)

○ みどころ/江戸時代富士講の人々によって府内の神社境内に築かれた富士塚のうち、駒込富士・白山富士・音羽富士・高田富士・西大久保富士・東大久保富士・新宿富士の七つの富士山を巡ると共に三箇所の富士見坂と富士講の中興の祖・食行身祿の墓の有る海蔵寺を訪れます。また、23区内最高峰の箱根山(海拔44.6m)にも登ります。

☆ 10月例会 ちば七廻道・水辺コース (例会リーダー 藤井 順一)

主 催/千葉県ウォーキング協会 主 管/北総歩っ会

日 時/10月8日(日) 20km・30kmコース・・・8:30(自由歩行)

10kmコース・・・9:30(団体歩行)

集 合/ JR 常磐線我孫子駅南口徒歩10分の手賀沼公園(案内あり)

参加費/500円(会員・所属団体に関係なく全員)北総歩会員は月例参加票もお忘れなく

解 散/同じ手賀沼公園

「ちば七廻道・水辺コース」大会の詳細はCWAニュースをご覧ください

1. やあ！お早よう 明るい挨拶 さわやかに

ふぁみりーウォーク

この行事に参加する場合、事前の申し込み(連絡)等の必要はありません。
「ふぁみりーウォーク」の集合時間は、毎回 **9:00** です。参加費(100円)
集合時間が出発時間ともなりますので、遅れない様にご注意ください。

- ☆ 9月16日(土) 上野から北千住
約8km (担当:石原 洋二)
集合: JR 上野駅入谷口 パンダ広場
(集合時間は通常の9:00にご注意)
解散: 北千住駅 12:00頃

- ☆ 10月21日(土) 柏南部の自然を歩く
約9km (担当:吉田 公康)
集合: 東武野田線逆井駅 解散: 増尾駅

7/15 国道16号線下を歩く参加者の皆さん→



北総歩こう会のモットー **明るく・楽しく・和やかに** 略号…明



平成18年7月例会

「ビール工場見学W」を担当して

例会リーダー 後藤 章

【下見について】春まだ寒き中頃、高桑・菊池・後藤の3名で「毎年同じ道では？」という声があり、新しいコースと思い下見に向かう。

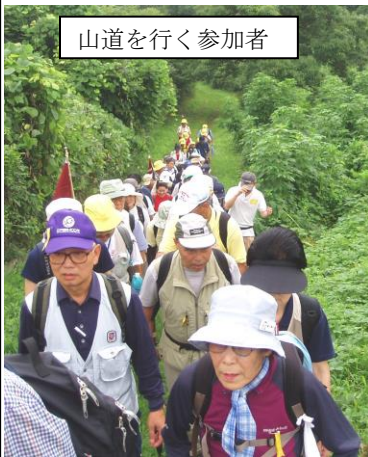
今年はTX(つくばエクスプレス)の誕生後初めての工場見学になり、東京秋葉原より30分と守谷も近く柏駅より流山おおたかの森経由で30分足らずとなりました。便利になった守谷へ「来て良かった」と言って貰えるコースを作る為に下見に行く。守谷駅→永泉寺→新守谷駅→立沢公園

園までは昔、戸頭より歩いた道です。これよりは初めて歩くコースで、地図を見ながら先へ進む。せせらぎの小道をとおり鬼怒川の畔まで来て川の一里塚を発見する。鬼怒川に沿って進むと草地の広場があります。先へ進んで土手に登り竹藪の中を進むと香取神社の横に出た。ここまでコースは出来た。続いて車の少ないコースを探しながら四季の里公園まで来る。ここを昼食にしたいが雨が降ったらどうするか？頭が痛い。その時は野中の案山子並に一本足で立ち食いか？

【ウォーク当日】当日の朝柏では土砂降りの雨で、空模様を気にしながら守谷駅に到着する。守谷駅は改造により綺麗になった。駅前より出発し永泉寺入口参道の両側に樅・杉・桜・松の



山道に行く参加者



並木があり、夏の散策には心地良い道です。永泉寺より出るとまた松並木が 500m ほど続きます。新守谷駅を通過して立沢公園で水分補給・休憩・昼食用買い物を済ませる。立沢公園を後にせせらぎの小道へと至もせせらぎに水が無く、涼しい風を予想しただけ暑い感じがした。どこもかしこも雨ばかりなのにせせらぎには水が無い現象である。まもなく鬼怒川に出る。一里塚に登り川を見れば濁流が溢れている。これより今日の歩きたくなる道、久しぶりに靴の汚れを気にした方もいたかな？草の中、竹藪の中より現れた香取神社を参拝後、昼食場所の四季の里公園で工場見学まで休憩と昼食を取る。 役員の皆さんには余分な作業になった（リボン）の配布が無駄になった。2回の予定が1回で済み、予定時間より少し早く解散出来たかな？暑い中、参加者 132 名全員が無事守谷駅に帰り着く事が出来たことに対して、役員はじめ参加者の皆様に感謝申し上げます。（例会担当：高桑三郎・菊池 靖）



完歩証を受取り家路に急ぐ参加者

ほゆるのひろは



徒然なるままに歩いて 10年・雑感

(H18.6.25. 見沼たんぼと花に参加して)

流山市会員 横尾 僖和子

歩き始めた最初のきっかけは 20~30 人、少人数のグループで風景を眺めたり、スケッチする人はしながら・・・地図を片手に 7~8km」を午前中に目的地まで歩くと言うものでした。そのうちにその中の人に北総歩会を教えて頂き入会して、月例会の参加を重ねているうちに早いものでいつの間にか 10 年近くになります。



これも個人でやろうと思っても、とてもとても出来るものではなく、会員のために毎月のコースを定めて下見を重ね、月例会当日の会員への心配り等々・・・「役員の方々のお世話があってこそ」と心から感謝しております。会員へのボランティアありがとうございます。

6月の例会「見沼たんぼと花」は、今まで行った事が無いコースで、木々が多くウォークに最適で、昼食後の土手を歩いた時には「春にはサクラが素晴らしいのでは」と・・・夫と話したものでした。

歩けをするようになり、今まであまり感じなかった木々や花々の移ろいがとても新鮮に感じられる様になりました。

初めのふぁみりーウォークで知り合った人達数人とは、今でも月 1 日、都合がつく限り逢ってウォーク・食事・お話と楽しいひと時を過ごしております。また、私達夫婦も毎日曜日には二人で歩けをやっており、時には「こっちの道ではないだろう（夫）・・・イヤ絶対こっちの道よ（私）・・・」小さな喧嘩も・・・でも帰る頃にはそんな事も忘れて、心地良い汗をかいて帰宅する。そんな日常生活を過ごしております。

私もあるボランティアをしておりますが、「本当に力になっているのかしら？・・・もしかしたら皆の足を引っ張っているのでは？・・・」と、試行錯誤しながらやっています。

歩き始めて 3~4 年頃には熱が入って、とにかく距離を歩きたくて他所の会や他県にも足を伸ばした（呆れ顔の夫をしりめに・・・）こともありましたが、でも、今は少し違います。これからは何時までも細く長く距離は程々で・・・この歩く楽しさをこの先長く健康に続けられたらとても幸せなことではないかと思う昨今です。これからも宜しくお願い致します。

(H18.7.11 歩遊人受)

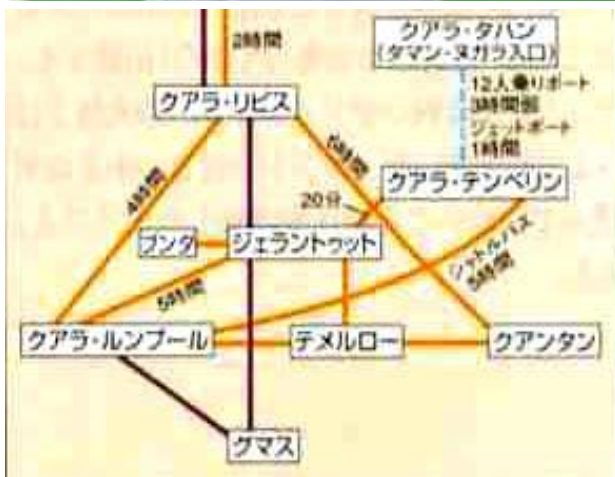
歩々悠々雑学帳 ④

熱帯ジャングルトレッキング (1/2)

我孫子市会員 渡辺 肇幸

マレー半島中央部に、世界で最も古い地層で先史時代そのままと言われる、ジャングル地帯があります。その名もタマンネガラ（国立公園という意味）という、マレーシア連邦国立公園です。毎年数名の行方不明者が出ると言われる地域です。数年前、仲間数人とここへ出かけました。

首都クアラルンプールからバス 4 時間で、クアラテンベリンへ、ここで船外機付のボートに乗り換え、テンベリン川を 3 時間遡ります。平野の中を進むボートが、兩岸からおいかぶさる密林の中を通り、タマンネガラ公園事務所へ到着します。密林は平野にくらべ気温は多少低いのですが、湿気がものすごく、T シャツなど 2-3 日乾きません。



ここに 4 日間滞在し、密林のトレッキング

をしました。滝あり、洞窟あり、山あり、川あり、原始的な暮らしをしている先住民部落ありで全く退屈しません。わが国の自然とは異なっており、いい経験になりました。世界中から人が集まりますが、日本人は少ないようです。

(つづく) (H17,10 月記)

【編集後記】紙面の都合で休んで頂いていた渡辺氏に再登場して頂いた。世界を歩き歩いた氏ならではの内容による再登場である。144 号から従来の B-5 版を拡大 A=4 版で印刷している。「文字が大きくなって見易くなった」・「文字は今までと同じで内容を増やせ」・「従来どおりの B-5 版が良い」などの意見を聞かせて欲しい。例会参加者から「コース担当者はコース上の名所旧跡でもっと説明して欲しい」の声もある。ご苦労ですがそちらの方も考慮して欲しい。一歩遊人一

編集担当 和田 武年 〒270-0121

流山市西初石 6-187-43 Tel・Fax 04-7154-0170

Eメール: takejii@isis.ocn.ne.jp

武年
の辺でという

インカ道今夜のキャンプはここですかトイレを聞けばその
父と娘とインカトレイル二人旅テントより見る満天の星
インカ道テント泊りで歩きおり四千の高さはつらき道な

武爺海外ウォー句たより

5

和田